



報道関係各位

2008年6月6日

## シティ、日本での高成長事業の統合を加速 消費者金融事業の更なる見直しへ

シティは、現在グローバルに展開する優先事項を推進するうえで、適切な経営資源の配分、また最も高い成長が見込まれる事業に集中するため、本日、日本の消費者金融会社である **CFJ** 株式会社(以下 **CFJ**)の事業を更に見直すと発表しました。これは、日本におけるビジネスにおいても、成長性の高い事業を重要視しつつ、シティおよび日興の個人・法人向け証券業務におけるプラットフォームの統合を加速化、オペレーション、テクノロジーのインフラ、管理業務におけるプラットフォームを再編するというシティのコミットメントを反映しています。

シティの最高経営責任者であるビクラム・パンディットのコメント。

「シティはこの数ヶ月にわたり、バランス・シートの強化、リスク管理の改善、組織再編を実施するなど一連の重要な措置をグローバルに展開し、シティの中核事業を将来の成長軌道に乗せる事となりました。日興がシティにもたらしたすばらしい才能と経験を活かすことにより、日本の中核事業が強化されることでしょう。日本のシティが現在行っている取組みにおける今後の展開に期待しています。」

事業見直しの一環として、**CFJ**は現在ある**32**の有人店舗および、**540**の**ALM**(自動貸付契約機)を配置した無人店舗を閉鎖します。また、消費者金融ブランド **DIC** でのマーケティングを中止するとともに、新規の融資契約を縮小します。シティは、また **CFJ** のインフラおよび個人向け融資の専門知識の活用に注力、個人向け融資業務において実績ある部門やその他の事業部門における成長を支援してまいります。**CFJ** は既存顧客への影響を最小限に留めるため、今後 **12**ヶ月にわたりこれらの計画を実行に移してまいります。

以前発表されたとおり、シティの日本における新グループ体制は、シティバンク銀行個人金融部門の**31**支店及び日興コーディアル証券の**110**支店を含む、銀行、証券その他関連事業をグループ一体的に経営する事が可能となる予定で、グループ全体の成長を促進します。新グループ体制は、関係当局の承認を条件に、**2010**年初頭にかけて段階的に実行される予定です。

日興シティホールディングス株式会社の代表取締役会長兼社長であるダグラス・ピーターソンのコメント。「先日発表した日本における機構改革および役員異動は、銀行、証券事業の継続的な成長をめざすうえで重要な決定です。最も高い成長が見込まれる事業に経営資源を配分することで、お客様の多様なニーズにお応えするサービスを強化してまいります。」

###

報道関係お問い合わせ先：  
日興シティホールディングス  
コミュニケーション部門 広報部  
Tel: 03-5644-4543

本書には、米国民事証券訴訟改革法に定める「将来の見通しに関する記述」が含まれています。こうした記述は、経営陣の現在の予測に基づくものであり、不確実要素や状況の変化により影響を受けます。様々な要因により、実際に生じる結果は、こうした記述に含まれる情報と大きく異なる可能性があります。これらの要因に関するより詳細な情報は、シティグループが米国証券取引委員会に提出する文書中に記載されます。